

## 中学生防災通信ボランティア令和元年度第1回訓練

日時 令和元年6月2日(日)  
午後1時30分～  
場所 幡豆いきいきセンター  
つつじホール

- 1 挨拶
- 2 三ヶ根通信ボランティア紹介  
メンバー自己紹介
- 3 新規メンバーにユニフォーム貸し出し
- 4 中学生防災通信ボランティアメンバー自己紹介
- 5 中学生防災ボランティアの仕事の解説  
非常通信の解説  
避難場所の所在地の解説  
その他
- 6 第1回通信訓練(トランシーバー操作実習)  
特定小電力トランシーバーで4班に分け送受信訓練実施  
高台の幡豆公民館方面と「いきいきセンター」とで情報伝達  
(降雨時は「いきいきセンター」内で実施)
- 7 その他
  - ・「三ヶ根通信ボランティア」のホームページ  
アドレス <http://hazu8zu.dip.jp/stv/> トップページのみ一般公開  
OGOBのページ パスワードが必要(ボランティアメンバー、OGOB、関係者)  
UserName「                    」 Password「                    」  
  
活動予定、活動の写真を中心に掲載する。
  - ・アマチュア無線について
  - ・アマチュア無線の雑誌紹介 月刊「CQ ham radio」  
幡豆図書館に西尾市雑誌スポンサー制度によるアマチュア無線クラブによる寄付
  - ・第2回訓練 12月上中旬の日曜日予定
  - ・記念集合写真撮影

# 中学生防災通信ボランティアの仕事

令和元年 6月2日

第1回訓練資料

三ヶ根通信ボランティア

## 1 中学生防災通信ボランティアの仕事

- ①電話が使えないとき、無線機を使って西尾市幡豆支所等防災機関や幡豆地区内の避難所と連絡をすること。
- ②無線機はトランシーバーと呼ばれる簡単なもので練習すれば誰にでも使えます。危険なことは何ともありません
- ③旧幡豆町には大学、高校がなく、大きな会社も少なく、特に平日の昼間に災害が起きた時地元にいる大人は少ないのが現実です。幡豆中生は昼間必ず学校にいるはずですから、災害時中学生の働きが必要とします。

## 2 幡豆地域(旧幡豆町)の防災体制の解説

- ①各町内会に一時避難所の開設
- ②幡豆の東幡豆 西幡豆 寺部 鳥羽町内に4カ所避難所を開設
- ③小学校区 幡豆小(西幡豆 寺部 鳥羽) 東幡豆小(東幡豆)→幡豆支所→西尾市

## 3 非常通信の解説

- ①4カ所の避難所の防災倉庫に無線機(アマチュア無線)が保管されています。
  - ②非常時には資格がなくても誰でも使用できます。←中学生防災通信ボランティアの活動
  - ③各町内会には特別小電力トランシーバーが西尾市より配布支給され、保管されています。
- ※中学生防災通信ボランティアがこれらの無線機を使って非常通信を行ってくれることです。

## 4 避難所の所在地の解説

4カ所の避難所 防災倉庫4箇所無線機保管:非常時使用

- ①東幡豆小学校
- ②西幡豆小学校
- ③幡豆支所
- ④鳥羽老人の家

## 5 その他

東北大地震の8年後 2011. 3. 11→2019. 5. 21~23

釜石→大船渡→陸前高田→気仙沼→南三陸→石巻→福島→浪江町(福島第一原発)

# ○ 通 信 訓 練

## トランシーバについて

- ・電力の大きなものを使用するのは無線従事者免許がいる
- ・免許のいないものは、電波の届く範囲がせまい。
- ・非常通信の場合は、生命が大切なので制限がない。

### トランシーバーによる通信

- ・片通話である。携帯電話と違う。糸電話と同じ。
- ・PTTボタンを押しながら話す。PTTボタンを離して聞く。  
PTT(P u s h T o T a l k)
- ・「どうぞ」と「おわり」が必要

### 通信をするとき

- ・はっきり落ち着いて話す。
- ・すぐには聞きなおせないなので、わからなかったところがあれば、そこを覚えておく。
- ・トランシーバは、なるべく垂直(立てて)にして、高い位置で使う。
- ・トランシーバのMIC部分に口を近づける。(離すとエコーがかかったような声になる)
- ・一度に多く話さない。
- ・特に語尾をはっきり言う。また子音は伝わりにくいのではっきり言う。
- ・誰が誰と話しをしているかがわかること。
- ・訓練のときは、必ず「**訓練**」の言葉を言う。

## 訓練内容

避難所 「本部、本部、こちらは( )避難所の( )です。  
感度いかがですか? どうぞ」

本 部 「( )さん、こちらは( )です。  
(感度の状況を伝える) どうぞ。」

感度の状況 ・感度良好です。  
・少し雑音が入りますが、わかります。  
・雑音が多くて聞きづらいです。  
・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。

避難所 「〇〇さん、それでは〇〇避難所から、本部へ報告がありますので、送っていいですか? どうぞ」

本 部 「送ってください。どうぞ」

避難所 「**訓練** こちらは、〇〇避難所の〇〇です。 報告は、  
(報告文を送る)

です。」以上です。どうぞ」

本 部 「了解しました。復唱します。

**訓練** (受信文を読み上げる) これでいいですか? どうぞ」

避難所 「間違いありません。こちらは〇〇避難所でした。おわり」

本部 「( )さん 了解しました。おわり」

## アマチュア無線について

### (1) 電波で結ぶ世界

インターネット、パソコン通信、携帯電話、FAX電話、人工衛星による通信など、昔に比べ、現代は実にたくさんの通信手段があります。

遠く離れていても、簡単に相手に気持ちを伝えることができ、たくさんの情報をやりとりすることができるようになりました。しかし、便利で多彩な今の通信手段ができるずっと前から、離れた人とのコミュニケーションをとるホットな通信手段がありました。電話回線が今ほど発達する以前から、世界を軽々と電波で結びコミュニケーションを成立させていたのがアマチュア無線なのです。国を越え年齢・性別を超え世界の人と語り合うアマチュア無線は、インターネットのルーツといえます。

そしてアマチュア無線が魅力的なのは、日本国内はもちろん、遠く海外とも無料で交信ができる点です。

### (2) 社会に役立つ活動

2011年の東日本大震災の時、あらゆるライフ・ラインが寸断されほとんどの通信手段が途絶えた中、アマチュア無線家たちの連絡網が情報伝達や人命の救助に貢献しました。災害、非常時に有線通信が使用不能に陥った場合、アマチュア無線は有効な通信網である、と今あらたに脚光を浴びています。

過去にも多くの災害時にアマチュア無線は活躍しており、ボランティア活動としての存在意義も大きく注目を集めています。

### (3) 試験を受けて資格をとる

無線は電波という貴重な資源を利用します。国際的にも国内的にも法律で電波の使い方はきちんと決められています。アマチュア無線はたくさんの楽しみ方がある魅力的な趣味ですが、誰でもが好きなように使えるわけではありません。大切な電波を利用しますから、資格として無線従事者免許証が必要なのです。

資格試験は、1級から4級まであり、このうち4級は2日間の講習会を受けるか、国家試験で合格すれば取れます。講習会は受講料7,750円で8月の土日に碧南市で開かれます。国家試験は、受験料5,012円で毎月1回日曜日に名古屋で受験できます。おすすめは国家試験です。参考書や問題集を買って自分で勉強する必要がありますが、この方が実力がつくし、三ヶ根通信ボランティアのメンバーが無料で勉強のお手伝いをします。希望があれば試験場に案内することもできます。

### (4) いろいろな楽しみ方

アマチュア無線は King of hobby とも言われます。人それぞれに、自分に向いたものを見つけ、様々な角度から楽しめるからです。おおざっぱに分けても、話し言葉での通信、文字での通信、符号での通信、人工衛星通信などがあります。送信機や受信機、アンテナを自分で組み立てるのが得意な人もあります。さまざまな実験をして、新しいことを知るのが好きな人もいます。今使われている短波や超短波は、はじめは、アマチュア無線家が発見したものなのです。若いみなさんも、何か世界にないものを発見しませんか。

# 報 告

避難所名	東幡豆小学校 幡 豆 小学校	いきいきセンター 鳥羽老人憩の家	
名 前			
時 間	時          分現在		
避難者数	人		
被害状況	/		
負傷者	人		
倒壊家屋	棟		
ライフライン	/		
電 気	停電	戸	
電 話	不通話	戸	
水 道	断水	戸	
その他	簡潔(短文)に記入		

送信 受信 時間

時          分